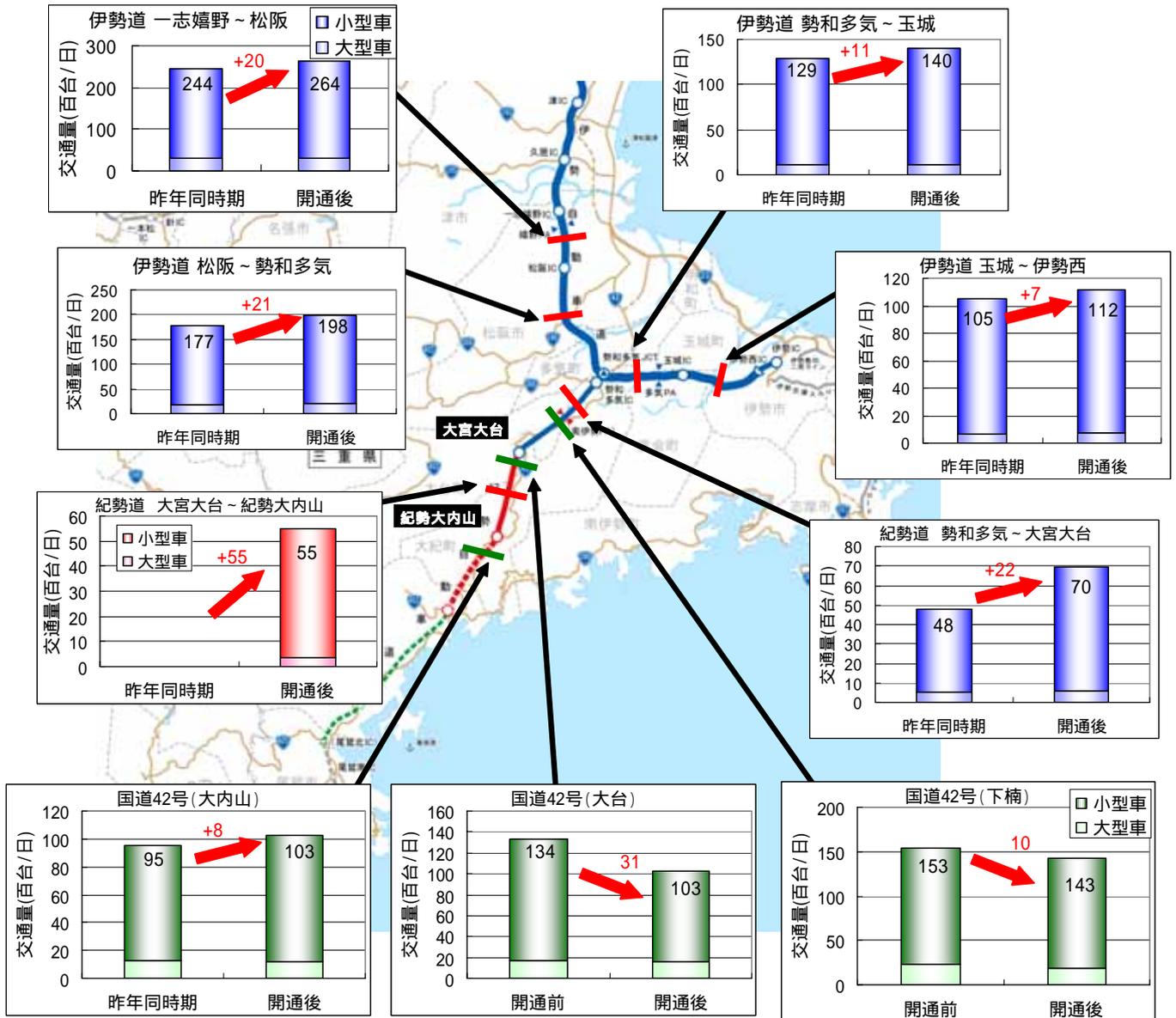


1. 紀勢自動車道及び国道42号の交通量

- ・開通翌日の平成21年2月8日(日)から2月14日(土)の大宮大台IC～紀勢大内山IC間の平均断面交通量は約55百台/日(平日平均約45百台/日, 休日平均(2月8日, 11日及び14日)約69百台/日)でした。
- ・今回の開通によって、開通区間に隣接する勢和多気IC～大宮大台ICで交通量が増加しており、昨年同時期と比較して約1.5倍となっています。
- ・国道42号では、12月計測値と比較して下楠で約10百台、大台で約31百台の交通量の減少が見られ、大内山では昨年同時期と比較して約8百台(休日で約14百台/日)の交通量の増加が見られました。



高速道路及び国道42号大内山地区は交通量計測装置によるデータを速報値として記載。
 昨年同時期は、平成20年2月10日(日)から2月16日(土)までの日平均交通量を記載。
 開通後は、平成21年2月8日(日)から2月14日(土)までの日平均交通量を記載。
 ここで平成20年2月9日15:40～翌9:45の伊勢道及び紀勢道の通行止めの影響を含む。
 国道42号の大台地区、下楠地区は、開通前平成20年12月11日(木)、開通後平成21年2月12日(木)に7:00～19:00の12時間計測を行った結果を日当たり換算して記載。